

ぶん活かわら版

発行日：令和元年（2019年）5月10日

発行者：滋賀県文化スポーツ部

文化芸術振興課文化財活用係

（電話番号：077-528-3343）

第2号

信長の夢～安土城～

信長の築いた安土城は、現在の近江八幡市にあります。安土城には名だたる武将や外国人宣教師などが訪れました。残念ながら天主・本丸は焼失してしまいましたが、一帯は国の特別史跡に登録されており、整備された大手道や、山上に残る天主・本丸の石垣の規模に、当時の安土城の壮大さを感じることができます。また、安土城考古博物館では6月9日まで、春季特別展として「安土-信長の城と城下町-」を行っています。

さて、6月2日は織田信長公の命日です。当日、安土駅周辺では「あづち信長まつり」が開催され、安土桃山時代の活気あふれる信長のまちに思いを馳せることができます。



湖国の祭り歳時記

開催日	祭り名称	社寺	市町	時間帯等	アクセス※	問合せ先	電話番号	
5月	18・19日	千団子祭	園城寺 (三井寺)	大津市	18日10時～ 19日15時頃	京阪三井寺駅から徒歩約10分	三井寺	077-522-2238
	26日	悠紀斎田 お田植まつり	御上神社	野洲市	10時頃～	JR野洲駅からバス	野洲市観光 物産協会	077-587-3710
6月	2日	御田植祭	多賀大社	多賀町	13時頃～	近江鉄道多賀大社 前駅から徒歩約10分	多賀観光協 会	0749-48-1553
	2日	近江神宮流鏝 馬	近江神宮	大津市	12時30分～	京阪近江神宮前駅よ り徒歩約10分	近江神宮	077-522-3725
	10日	漏刻祭			11時～			
	30日	夏越の大祓 (茅の輪くぐり)	多賀大社	多賀町	15時頃～	近江鉄道多賀大社 前駅から徒歩約10分	多賀観光協 会	0749-48-1553

※：各寺社へのアクセスです。祭りは寺社境内ではなく、町内各地で行われている場合があります。周辺は交通規制がされている場合がありますので、公共交通機関のご利用をお願いします。また、電車やバスの時刻や停留所等は予めご確認の上、お出かけください。

多賀大社の御田植祭→

写真：(公社)びわこビジターズビューロー



文化財イベント情報

開催日	イベント名	場所	市町	アクセス	問合せ先	電話番号	
5月	18・19・ 25・26日	旧和中散本舗 春の特別公開	旧和中散本舗	栗東市	JR手原駅から徒歩約25分	栗東市観光物 産協会	077-551-0126
	～19日	あお若葉(もみじ)の競演 (特別公開・特別拝観等 を実施。その他、期間中にイ ベント等もあり)	石山寺	大津市	京阪石山寺駅から徒歩約10分	石山観光協会	077-537-1105
			三井寺	大津市	京阪三井寺駅から徒歩約10分	三井寺	077-522-2238
5月22日～6 月6日	第5回 長浜さつき盆栽展	慶雲館	長浜市	JR長浜駅から徒歩約3分	長浜観光協会	0749-65-6521	

情報の掲載希望やご意見等ございましたら、sc0004@pref.shiga.lg.jp までメールをお送りください。

歴代天皇と滋賀県との関わり

元号が平成から令和になりました。皇室の話題が多くなっておりませんが、古代から日本の歴史の表舞台に登場する滋賀県では、歴代の天皇や皇子らとの関わりの深い場所や文化財も多く存在します。その一端を紹介します。※諸説あるものもあります。

代	在位	名	滋賀県との関わり・縁
12		景行天皇	・志賀高穴穂宮(たかあなほのみや)に都したという(景行、成務、仲哀の三代。『古事記』『日本書紀』等による)(現在の天津市穴太付近と伝えられる)
		日本武尊	【12代景行天皇皇子、14代仲哀天皇の父】 ・伊吹の神により致命傷を負う。居醒めの清水(醒井)でいったん回復する(米原市) ・建部大社は、日本武尊を祭神とする神社を代表する存在(天津市)
		神功皇后	【14代仲哀天皇皇后、15代応神天皇の母】 ・古事記では息長帯比売命(おきながたらしひめのみこと)と表記され、坂田郡(米原市)の出身とされる。(道の駅「近江母の郷」の名称の由来の一人)
26	507～ 531	継体天皇	・滋賀県高島市で生まれた(450? /古事記) ・高島市に縁の史跡が多い(鴨の稲荷山古墳は皇子の墓とされる。安曇川の田中王塚古墳(安曇陵墓参考地)が父・彦主人王(ひこうしおう)の墓とされる。等)
38	668～ 672	天智天皇	・園城寺(三井寺)の井戸が産湯に使われたという(天津市) ・670年に遷都先の候補として蒲生野を視察(東近江市) ・667年に近江大津宮に遷都(律令制の最初となる近江令を制定)(天津市) ・近江神宮の主祭神(天津市) ・「むべなるかな」と語ったとされる(大嶋奥津嶋神社献上品)(近江八幡市)
39	672	弘文天皇	・陵は長等山前陵。膳所茶臼山古墳にも御陵伝承(天津市)
40	673～ 686	天武天皇	・園城寺(三井寺)の井戸が産湯に使われたという(天津市) ・「紫草のにはほへる妹を憎くあらば人妻ゆゑに我恋ひめやも」の和歌を蒲生野の地で額田王に歌った(668)(東近江市) ・壬申の乱(672)で弘文天皇と争う(息長横河(米原市)、鳥籠山(彦根市)、安河(野洲市)、栗太軍(栗東市)、三尾城(高島市)、瀬田橋(天津市)の戦い)
41	690～ 697	持統天皇	・園城寺(三井寺)の井戸が産湯に使われたという(天津市)
45	724～ 749	聖武天皇	・740年に禾津頓宮(あわづとんぐう)(天津市)等へ行幸 ・742年に紫香楽宮(離宮)を造営し、743年に盧舎那仏造営を発願(甲賀市)
47	758～ 764	淳仁天皇	・761年に保良宮(ほらのみや)を造営(現在の天津市が定説だが、甲賀市玉桂寺が跡地とする伝説もある) ・政変に敗れ、764年に菅浦に隠れ住んでいたという伝説がある。(長浜市)
50	781～ 806	桓武天皇	・伝教大師最澄を入唐させ、806年に天台宗の開宗を認める ・天智系の天皇として、古津と改称されていた旧都の地名を大津に復させた(794)
52	809～ 823	嵯峨天皇	・815年に唐崎へ行幸、途次に梵釈寺(現在は廃寺)で茶を飲む(日本最初の喫茶記録)(天津市)
		惟喬親王	【55代文徳天皇皇子】・木地師の祖と言われている(東近江市奥永源寺小椋谷)
68	1016～ 1036	後一条天皇	・皇子が朽木に隠されていたとされる(縁:興聖寺)(高島市)
107	1586～ 1611	後陽成天皇	・瑞龍寺の寺号と寺領を与える。日蓮宗唯一の門跡寺院(村雲御所)(近江八幡市)
108	1611～ 1629	後水尾天皇	・上皇のときに、「滋賀院」の号を与える。滋賀院門跡は江戸時代末まで天台座主となった皇族代々の居所。(天津市) ・正明寺を勅願により復興、京都御所の清涼殿を下賜して移築させる(1664)(日野町)
		皇女和宮	【120代仁孝天皇皇女】・降嫁の際、草津本陣にて昼食休憩を取る(1861)(草津市)
122	1867～ 1912	明治天皇	・明治元年(1868)の東行をはじめ、7回にわたって滋賀県を行幸(県庁内をはじめ、県内各地に明治天皇聖蹟石碑がある) ・長浜市の慶雲館は行在所として建設された(1887) ・新築された県庁舎と琵琶湖疏水工事見学のため、大津に行幸(1890) ・大津事件がおきたあと、京都に滞在していたニコライ皇太子を見舞う(1891)

7月25日まで、県庁新館3階県政史料室にて、展示「皇室と滋賀県」を開催しております。近代以降の行幸を中心とした歴史的文書等を展示しております。是非ご覧ください。(県庁開庁日。無料)